



診断なら

2016 年新年号

— 目 次 —

◆ 新年のご挨拶	1
◆ 平成 27 年度理論政策更新研修開催報告	2~3
◆ 活動報告	
奈良県立図書館情報館「体験学習会&無料経営相談会」実施報告.....	4~5
平成 27 年度地域創業促進支援事業	
「実践型創業スクール in 大和高田」開催報告.....	6~7
大和高田商工会議所主催「暮らし産業メッセ 2015」活動報告	8~9
弁理士会との協働事業 第 2 回「交流・懇親会 Part2」開催報告 ..	10~11
◆ トピックス	
第 26 回診友会開催報告	12
◆ 各研究会活動状況	13
◆ 新入会員自己紹介コーナー	14~15
◆ 奈良県診断士会行事開催予定	16
◆ 編集後記	16

新年のご挨拶

～明けまして

おめでとうございます～



一般社団法人
奈良県中小企業診断士会
会長 森 昭彦

平成 27 年の漢字は「安」でした。

今後の安全・安心・安定を祈願して、という意味合いが込められているのですが、平成 27 年は逆に変化の年でした。

例えば日本の本質的な国際化は、27 年～28 年に掛けてがターニングポイントになりそうです。外国人観光客の増加というチャンスをどのように活かすか、利害の対立する近隣諸国との関係性をいかに健全化しリスクを削減するか、政府は攻守両面の対応を計画しています。

我々が主戦場としている国内ビジネスにおいても、「マイナンバー」、「消費税率引き上げおよび軽減税率の導入」、「外形標準課税」等々、事業者には新たな負担が掛かる制度の変更が検討されています。国の予算を確保するために必要な施策だということは理解できる面もありますが、経営資源の脆弱な小規模事業者にも、大きな手間と費用が掛かってしまうことが懸念されます。

その普及を支える施策として、昨年末に閣議決定をした補正予算案には、たくさんの方の支援事業が示されていました。まさに情報を知っている人が得をして、知らない人が損をする世界であり、鮮度の高い情報の価値が高まっているのです。当会としましても、今後も補助金等の支援情報の迅速な収集と共有に努めます。

また、地域の小規模事業者を面的に支援し、地域経済の振興に本気で取り組む施策として、商工会議所と商工会が作成する「経営発達支援計画」の検討が各地で進められています。小規模事業者の持続的発展を支援するこの計画について、私は地方創生の本丸ではないかと考えています。当会においても、地域活性化の多面的な支援に力を入れていきます。

これからも会員各人が其々の個性を活かし、多様な場面で活躍することができるよう会を目指していききたいと思います。会事業に対する積極的なご協力・ご参画をどうぞ宜しくお願い致します。

平成 27 年度理論政策 更新研修開催報告



理事 佐伯 眞

一般社団法人奈良県中小企業診断士会主催の理論政策更新研修を、平成 27 年 9 月 12 日(土)に大和信用金庫八木支店ビル 3 階にて開催しました。

今回の更新研修の内容は以下の 3 講義実施し、講師は近畿経済産業局の中小企業調整官、奈良県中小企業診断士会員 2 名、計 3 名から、中小企業経営支援策及びプロコンとして活躍されている得意テーマに沿った内容で、講義が展開されました。

受講者数は 118 名と昨年に続いて 100 名を超え、これまで奈良県診断士会が開催した理論政策研修では最多の受講生となりました。アンケート結果は役に立ったと評価する受講生が 80%以上であり、それぞれの講座評価も非常に高い評価でした。今後の要望としては、「IT 関連」「業種業態を絞った経営支援事例、導入事例方法」等、よりコンサルティング内容を深めた具体的な講座を希望する声が多数寄せられました。また、「奈良県中小企業診断士会」の紹介や活動状況等の説明が欲しいという声もいただきました。



第一講 平成 27 年度中小企業・小規模事業者政策の概要について

【講師】 近畿経済産業局中小企業課 中小企業調整官 西山 寿一 氏

第一講では、近畿経済産業局中小企業課 中小企業調整官 西山様より、「中小企業・小規模事業者の現状」と「中小企業・小規模事業者の政策」を中心に解説されました。

中小企業・小規模事業者に対しての国の取組み、支援策を理解することができました。

第二講 経営計画実行のためのアクションプラン作成支援

【講師】 中小企業診断士（奈良県診断士会会員）・税理士 保延 薦 氏

第二講では、奈良県診断士会会員の保延先生から経営改善計画の作成方法について、現状把握→強みと弱み→外部環境→企業集団状況とビジネス俯瞰図→窮境要因と課題→アクションプラン→数値計画→振り返りと、計画策定に必要な項目を順追って詳しく解説されました。



特に、現場実践されている経験から、金融機関の目線、中小企業現場の専門家の生の声や考え方を理解することができました。

第三講 地域資源と観光 ～ 地域の稼ぐ力 ～

【講師】 中小企業診断士（奈良県診断士会会員）岸 克行 氏

第三講では、(奈良県診断士会会員)岸先生から、サブタイトル「地域の稼ぐ力」として、地域活性化の視点から、中小企業地域資源活用プログラムの概要、地域ブランド事例紹介、ふるさと名物応援宣言、そして、奈良県の頑張る企業事例説明がありました。

ご本人が奈良まほろばソムリエの有資格者であることから、

特に奈良県の地域資源や観光について、豊富な知識とプロコンとしての活性化経験談を講座内において解説されました。



活動報告

奈良県図書館 「体験学習会&無料経営相談会」



会員 深谷 繁

前回（2015年夏号）までの「診断なら」でご報告をいたしました通り、企業内診断士研究会では、2013年度より奈良県立図書館様との共催で、「中小企業診断士による体験学習会&無料経営相談会」を行っています。初年度の2013年度は3回(3日)、2年目の2014年度は2回（2日）実施しました。

2015年度は、従来よりも回数を増やし、年間6回（5月、6月、7月、12月、1月、2月）経営相談会と体験学習会を行うこととしました。前半の5月から7月までの3回については、「診断なら」夏号でご報告しました。

第4回目は12月13日（日）に行いました。体験学習会は、3名の方（男性2名、女性1名）が受講にされました。この日は、深谷が「推計学3時間入門」の題目で、推測統計に関する基本的用語（標準偏差、正規分布等）の説明に続いて、推定（サンプルをもとに母集団の平均や分散など、分布を表現するパラメータの値を予想すること）や検定（証明したい仮説を設定し、区間推定の考え方をを用いてその仮説の正しさを証明していくこと）の手法について解説しました。この日、経営相談会にはどなたもお越しになりませんでした。



第5回目は1月16日（土）に行いました。体験学習会は、12名の方（男性8名、女性4名）が受講にられました。12名はこれまでの学習会で最多です。この日は、藤井謙昌氏が「いまなぜソーシャルビジネスか」の題目で、学習会を行いました。

ソーシャルビジネスとは、社会的な問題を指紋自らが当事者意識を持ち、ビジネスとして取り組むことを指します。この日は、4団体の活動事例を紹介し、ソーシャルビジネスと営利事業やボランティアとの相違点を説明するとともに、今ソーシャルビジネスが注目されている背景や国や県のソーシャルビジネスを支援する動きを解説しました。

この日、経営相談会にはお一人の方がお越しになりました。

◆人々の価値観やニーズが多様化し行政だけでは社会的な課題への対応が困難
＜例＞障がい者・高齢者の支援、環境保護、子育てや共働き社会の実現、まちづくり・まちおこし等

◆ソーシャルビジネスとは
・上記のような課題をビジネスの手法を用いて解決していく

★営利事業との相違点
利益の追求より社会的課題の解決に重点
★ボランティア活動との相違点
活動資金を自ら稼ぎ出す

◆本日の内容
・四つの団体の活動事例を紹介、ソーシャルビジネスとはどのような活動であるのかを理解していただく
・ソーシャルビジネスの定義づけ
・なぜソーシャルビジネスが注目されているのか？



上記の4・5回は、泉谷陽一氏、香川登志雄氏、梶純子氏、永山信男氏、藤井謙昌氏、芳林由美子氏と深谷が従事しました。

第6回目は2月14日（日）に香川登志雄氏による体験学習会「ロジカル・シンキングと課題解決」（入門）と経営相談会を行う予定です。

また、来年度も体験学習会と経営相談会を行わせて頂きたい旨、図書情報館様をお願いをしています。

課題はたくさんありますが、この催しは中小企業診断士が地域の方々と交流することのできる貴重な機会となっていますので、今後も継続していきたいと思っています。

平成 27 年度地域創業促進支援事業
「実践型創業スクール in 大和高田」

開催報告



理事 本田 秀継

暑さが残る 9 月初旬、大和高田にあるエルトピア中和で「実践型創業スクール in 大和高田」を開講しました。国による公募事業「地域創業促進支援事業・創業スクール」は、昨年度に引き続き 2 度目の受託です。

受託を受け、今回も当会 ML にて講師を中心としたプロジェクトメンバーを公募したところ、森会長、渡辺副会長、岸理事、保延会員の 4 名が名乗りを上げて下さいました。

昨年度は受託時期が遅く年末 1 ヶ月の短期集中講座となりましたが、本年度は受託申請を早々に行い、隔週土曜日・2 ヶ月半に亘るカリキュラムとしたことで、じっくりとビジネスプラン策定に取り組むことができました。今回のスクール修了者は、大和高田市創業支援策の支援対象者となることが可能です。



受講者は女性 2 名、男性 4 名（合計 6 名）と少人数ながら、年齢分布は 20 代～60 代と広範に亘り、個性豊かなメンバーが揃い、大変楽しいスクールになりました。プロジェクトメンバーの皆さんによる積極的な受講者募集活動に心より感謝致します。

前回同様、インプット講義（理念・ビジョン、マーケティング、会計・税務・法務等）は専門用語を必要最小限にとどめた実践的でわかりやすい内容とし、ワークショップでは、受講者自身のこれまでの経歴やそこから獲得したスキル・強み等を棚卸しし、その強みを活かせるビジネスモデルの検討～ビジネスプランの策定・プレゼンテーションを通して、講師陣による密着伴走型の支援ができました。また、ビジネスプランの作成過程では受講者同士のコミュニケーションも活発に行われ、当スクールが将来に繋がる人的ネットワークの構築に役立ったことと思われます。

最終回では、各受講者による「ビジネスプラン・プレゼンテーション」と「最優秀ビジネスプランの選定」を行いました。最優秀ビジネスプランに選ばれたのは、Kさんによる「1万円軽中古車リース事業」で、当プランは、スクール終了後にマンツーマンによるブラッシュアップを経て、スクール事務局に提出されました。



このようにして全国各地から提出されたビジネスプランは、1次審査（書類審査）でセミファイナリスト 16 名が選抜され、さらに2次審査（面接）を経て8名のファイナリストが決定します。そうして残ったファイナリストは、平成28年2月24日に東京で行われる最終審査（プレゼン審査）へと進みます。

今回、我々がKさんのビジネスプランは残念ながらセミファイナリストには選ばれませんでした。が、実際のビジネスでは一番の成功を収めて下さることと信じています。

スクール満足度アンケートの結果を集計した結果、受講環境 91 点、運営体制 93 点、講座内容及び講師 98 点（何れも 100 点満点）となり、さらに出席歩留率は 89%となっていることから、受講者の皆様にとって満足度の高いスクールになったことと推察できます。

奈良県中小企業診断士会では、今後も奈良県経済の活性化に大きく寄与するであろう創業希望者を手厚く支援したいと考えます。
会員の皆様にも積極的なご協力をお願い致します。



受講者さん達のビジネスが
成功への道を辿りますように

講師一同

大和高田商工会議所主催
「暮らし産業メッセ 2015」活動報告



理事 岸 克行

大和高田商工会議所・暮らし産業メッセ実行委員会の主催で、大和高田・橿原・葛城「暮らし産業メッセ 2015」を11月7日(土)・8日(日)の両日、奈良県産業会館において開催され、2日間延べ13,000人のお客様がご来場されました。昨年度に引き続き、奈良県中小企業診断士会では、4名体制で、計画段階の実行委員会立ち上げ前の段階から企画内容に関与させていただきました。

今年は、元気な農商工 再発見と副題を掲げ 新事業展開促進のための展示会事業や地元特産野菜を使って食育の一環で市立高田商業高校生によるお弁当グランプリの開催、農楽マッチ勉強会との共催による農商工連携セミナー、新鮮野菜の即売会等を展開しました。



昨年度の企業コラボレーションを農商工連携に絞っての展開で、市立高田商業高校生によるお弁当グランプリの開催では、地元奈良新聞を始め、産経新聞・米穀新聞とメディア取材も行われ、例年以上に注目を集めました。次回はさらにパワーアップしようと今から楽しみです。

奈良県中小企業診断士会が、この「暮らし産業メッセ 2015」を通じ地域の特色のある優れた地域資源を生かし地元の産業と消費者とが交流し、大和高田・橿原・葛城地域の農商工が更に力強い元気を発信していくことに、更なる貢献ができればと願っております。

～農業事業者さん対象の勉強会～
 当会原田理事とフリーズドライの第一人者の東氏による講演



市立高田商業高校によるお弁当選手権



食のエリア



弁理士会との協働事業 第2回

「交流・懇親会 Part2」開催報告

理事 本田 秀継

年明け間もない1月15日、約半年ぶりに当会と日本弁理士会近畿支部奈良地区会との協働事業・第2回「交流・懇親会 Part2」が「きらっ都・奈良」3階研修室にて開催されました。当協働事業における狙いは、診断士と弁理士が、お互いをより深く理解し、強みを活かした協業機会を探り、新たな仕事を獲得することです。第2弾となる今回は、前回に引き続き、お互いを理解するための交流・懇親会 part2 で、参加人数は、当会13名、弁理士会7名の合計19名でした。概要は以下の通りです。

第1部：交流会（診断士2名、弁理士2名によるパネルディスカッション）

①ショートプレゼンテーション

- ・略歴
- ・資格取得及び独立のきっかけ
- ・資格を取得して良かった点・悪かった点
- ・現在の業務内容と仕事の獲得方法等

②パネルディスカッション

- ・現業務における他の士業との連携の有無
- ・現在の料金体系 等

③オープンディスカッション

- ・お互いの立場から見た協業の可能性 等



第2部：懇親会

第1部では、診断士会から渡辺副会長と佐伯理事、弁理士会からは独立弁理士の田嶋先生と企業内弁理士の光明寺先生がパネリストとなり、これまでの業務経験や今後の方向性等について、楽しく為になるディスカッションを繰り広げて下さいました。また、パネリストだけでなく、当会の森会長や堀越副会長等による積極的な発言に誘発され、その他の参加者も交えた質疑応答も盛んに行われたことで、場の雰囲気が一気に温まり、参加者それぞれにとって充実した2時間が過ごせたように感じられました。



資格取得によるメリットとしては、それぞれに立場は違うものの、資格を取得してからの積極的な人との触れ合いによる人的ネットワークが一番の宝物となり、仕事に繋がっているように感じられました。資格取得によるデメリット（資格を取得して悪かったこと）は、特に無いようでしたが、お互いの資格認知度がまだまだ低いことは共通する悩みとして存在するようです。

また、お互いの協業機会として、診断士側からは創業支援時における商標等に関する協力依頼等が考えられますが、弁理士側では最初から知的財産に対する相談ありきで顧客からアプローチがあるため、診断士への協力機会が少ない模様です。とは言え、今後は診断士の魅力をより深く知ること、協業機会の探索を行いたいとのことでした。

第2部の「懇親会」では、第1部の交流会で場が温まったこともあり、前回同様に最初から参加者それぞれに話が弾み、中締めタイミングが実に難しい会合となりました。

今回のイベントで挙げられた今後の課題としては、フィーが発生する前段階で、相手資格者（診断士から弁理士または弁理士から診断士）の誰にどのように声掛けすれば良いかという疑問を解決するようなネットワークの仕組み作りがありました。今後、弁理士会と相談しながら、その仕組み作りを考えたいと思いますが、お互いが個別に相手の強みや方針・考え方等を理解し合うことで案件に応じた相手と直接繋がるのが第一であるように思います。そのためにも、診断士会会員各位には、今後さらなる積極的なイベント等への参加をお願い致します。

トピックス

第 26 回診友会開催報告

診友会幹事 原田 高峰

～今回も絶好のゴルフ日和となった診友会ゴルフコンペ～

奈良県中小企業診断士会の年 2 回春・秋の恒例行事であります秋の「診友会ゴルフコンペ」は今回で 26 回目となり 13 年目になります。今回はレイクフォレストリゾート・ザ・バードスプリングコースでの開催となり、8 名の参加者の楽しい戦いとなりました。皆さんの日頃の行いが良いせいか今回も好天に恵まれ風もなく絶好のゴルフ日和となりました。

その好天の中全員健闘されて参加者平均スコアはグロス 109、ネット 85.5 という平均年齢 70 歳の割には非常に優秀なスコアでした。栄えある優勝は駒井宏充先生がネット 76.8 で獲得され、2 位にはネット 78 で植田義人先生が入賞されました。

このコースの良さは自然豊かさと平日であれば価格もリーズナブルであり、2 バッグ・3 バッグの割増料金もなく、緊急の場合のキャンセル料も前日までに連絡すれば無料になることで幹事としてはありがたいコースとなっています。ちなみに今回は昼食付でプレー費 7,000 円会費 2,000 円でした。70 歳以上の方はゴルフ場利用税 700 円ほどが安くなります。

次回平成 28 年春のコンペは 4 月 27 日（水）を予定しています。
3 月に正式案内いたしますので多くの方のご参加をお待ちしています。



各研究会活動状況

研究会名	会員数	開催頻度	主な活動内容	入会申し込み先
企業内診断士研究会 【代表者：藤井会員】	10 名	原則として3カ月に1回全体ミーティング、個別ミーティングは随時開催	実務ポイントの獲得とメンバーのスキルアップを目的とした活動を行っている。 今年度は奈良県立図書情報館において「体験セミナー＆無料経営相談会」を開催。	藤井 f2141@pastel.ocn.ne.jp
ホームページ活用研究会 【代表者：渡辺武久理事】	8 名	随時	ホームページの環境が多様化し、単にHPの作成や活用だけでは時代の波にとり残される。もっと幅広く、ウェブサイトの活用という観点からの研究会とすべく企画中である。	渡辺 fwkz5706@nifty.com
セミナー研修研究会 【代表者：徳南会員】	8 名	適時	相互啓発による研修講師としての資質の向上 オリジナルな研修コンテンツの開発 セミナー・研修の実施	徳南 koro-t@mri.biglobe.ne.jp
奈良マーケティング研究会 【代表者：岸理事】	7 名	適時 基本は隔月 土日	地元奈良県企業ならではのマーケティング活動を研究しています。【オブザーバー参加いつでもOKです】	岸 克行 090-7487-4965 kishi309@gmail.com
奈良活性化研究会 【代表者：北川理事】	約 50 名	原則として 隔月	例会として、ゲスト講師による講演・セミナーを開催 今年下半期の開催日と講演テーマは次のとおり ・8月8日 整備新幹線と並行在来線の話 vol.2 ・11月14日 日本の長寿企業にみる事業の継続 ・2月6日(予) マイナンバーの会社や個人への影響、本当のところはどうなのか!?	北川 裕康 mckenzie@kcen.ne.jp

新入会員自己紹介コーナー

◆ 2015 年 7 月以降、新たに入会された方からお寄せいただいた
自己紹介のコーナーです。

2016 年 1 月 1 日時点での会員数は 78 名となっています。

【50 音順】

ふりがな		うえの こうじ
名前		上野 浩二
連絡先	Tel.	0742-41-0235
	E-mail	aerokou@gmail.com
勤務先		通信会社
登録年度		平成 25 年度
		企業とベンチャー企業をつなぐオープンイノベーションに注目しています。企業内診断士として、日本の未来に貢献したいと思っています。 古都奈良だからこそできる、世界に発信する活動をしていきたいです。
特技		お弁当づくり
趣味		最近はじめたフットサル、トレイルランニング

ふりがな		しょうじ はじめ
名前		小路 一
連絡先	Tel.	090-6980-2811
	Fax	0744-32-0083
	E-mail	gjcfk013@ybb.ne.jp
勤務先		自営業
登録年度		平成 7 年
		4 年前にパナソニック電工を早期退職し独立しました。現在は、認定支援機関として個別企業への指導や、専門の「与信・債権管理」の研修講師等で活動しています。よろしくお願いいたします。
趣味		読書・麻雀(初段)

ふりがな		たけした とみひこ
名前		竹下 富彦
連絡先	Tel./Fax	0774-76-7841
	E-mail	to-takesita@nifty.com
勤務先		竹下経営革新事務所
登録年度		平成 19 年
抱負・自己 PR		これからの 15 年は、ささやかでも本当の仕事をし、少しでも世の中のお役にたてば幸甚です。そのあと、さっとおさらばできればと思います。
特技		まったくなし
趣味		作家さん(画家、陶芸家...)とおしゃべり、料理

ふりがな		つばきもと かずお
名前		椿本 和男
連絡先	Tel./Fax	0742-34-1582
	E-mail	ktsubaki@ken.jp
勤務先		この 1 月から開業(一人親方)
登録年度		平成 12 年
		地域密着コンサルタントとして奈良の中小企業を伴走型で支援していきたい。 経歴①輸送用機器メーカー(上場企業営業職 13 年) ②会計事務所系コンサルタント会社(コンサルタント 16 年) ③京都室町呉服問屋(経営・営業管理 10 年)
趣味		ラグビー観戦(草ラグビーでは 2 番フッカーでした)・旅行



奈良県診断士会行事開催予定

- ◆ 平成 28 年度「新春互礼会」 2 月 10 日（水）
- ◆ 奈良県図書情報館
体験学習会&無料経営相談会 2 月 14 日（日）
- ◆ 第 27 回 診友会 4 月 27 日（水）

編集後記

- ▽ 会報「診断なら」2016年新年号をお届けします。
2012年春季号から電子版として刊行を再開し、早いもので今回が9号目となります。
原稿をお寄せいただいた皆さまに改めて御礼申し上げます。
- ▽ 今号がお手許に届く頃には立春間近になっていると思いますが、
これからも寒い日が続きます。風邪など召されぬよう、どうぞご自愛ください。
- ▽ 「診断なら」では、会員の皆さまの寄稿も積極的に紹介していきたいと考えています。
エッセイや時事論考など、随時お寄せいただければ幸甚です。 【北川】



平成 28 年 元旦
暗峠の初日の出

〒630 - 8217
奈良市橋本町 3-1
きらっ都・奈良 3 階 302 号
Tel : 0742-20-6688
Fax : 0742-20-6788
e-mail : jsmeca27@m3.kcn.ne.jp

一般社団法人
奈良県中小企業診断士会
<http://www.nara-shindanshi.jp/>